



# キュウリ編



病害虫注意報  
2018年2月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

天候不順の予報がでています。菌核病・灰色かび病・つる枯病等が発病しやすくなりますので、圃場環境や樹の状態を再確認しましょう。徐々に害虫が動き出します。病害とあわせて防除を行ってください。環境・品種・展着剤・液肥などの混用によって薬害が発生する恐れがありますのでご注意ください。

## 春先の防除ローテーション

	対象病害虫	薬剤名	倍率	使用時期	回数	スワルスキー
①	アブラムシ類 ハダニ類 アザミウマ類 コナジラミ類	モベントフロアブル	2,000倍	前日	3回	30日
	べと病	ピシロックフロアブル 予	1,000倍	前日	3回	0日
②	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類 ウリノメイガ ウリハムシ	モスピラン顆粒水溶剤	2,000~4,000倍 (ウリハムシ 4,000倍 コナジラミ類・ウリノメイガ 2,000倍)	前日	3回	7日
	灰色かび病 菌核病 褐斑病	スミブレンド水和剤 予治 ※スミレックス+パウミル混合剤 (菌核病1,500倍)	1,500~2,000倍	前日	5回	0日
③	ミナキイロアザミウマ ウリハムシ ウリノメイガ ハダニ類 ミカンキイロアザミウマ	コテツフロアブル	2,000倍	前日	3回	14日
	灰色かび病 菌核病 うどんこ病	アフエットフロアブル 予	2,000倍	前日	3回	0日
④	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類	アドマイヤー顆粒水和剤	5,000~10,000倍	前日	3回	7日
	べと病	ライメイフロアブル 予	2,000~4,000倍	前日	4回	0日

## アザミウマ類防除

これから季節はアザミウマ類の発生が増えます。新芽や粘着板（青色）を観察して、発生状況を確認するようにして下さい。また、ハウス周りの除草や防虫ネットを設置して、アザミウマ類の発生を予防して下さい。黄化えそ病の発生株は速やかに除去して下さい。

### 天敵 スワルスキー

【野菜類での使用量】  
250~500ml (25,000~50,000頭) / 10a  
活動温度：15~35℃のため、低温下では働きも悪く、密度も低下します。暖かくなってから導入し、害虫密度を低く抑えるようにして下さい。天敵導入前後の薬剤散布は、天敵に影響の少ない薬剤を確認して使用して下さい。

### スワルスキープラスもお薦め

【使用方法】  
莖や枝等に吊り下げて放飼します。天敵は、環境に適應しながら、パック内で増殖しながら徐々に放出します。早めの放飼をお勧めします。100~200パック/10a (25,000~50,000頭/10a)

### 粘着板

粘着板をビニールテープに横向きにホットキスで留めて設置すると、ヒラヒラしくくなります。生長点近くにずらすのも薬になります！

根張りの弱くなる冬季・収穫期にも  
新しい根を出すチカラを！

### ファイトネット

- ◆ 灌注処理100~150g/10a
  - ◆ 10~14日おきに3~4回
- 肥料登録：生第84050号
- 

## NEW SB酸素

5~10kg/10aを目安に  
定期的(7~10日おき)に灌注処理！

土壤に酸素を供給し、根の活動を活発に！  
肥料・葉面散布剤の吸収を良くします。

### 根の回復時にすすめ剤

## ネマキック液剤

- 線虫に対して高い運動阻害効果を示します。
- 防除の難しいシストセンチュウにも高い効果を示します。
- 土壌中で成分が速やかに広がり、安定した効果が期待できます。
- メロン、きゅうり、ピーマン、すいかの生育期に安心して使用できます。

適用：ネコブセンチュウ 4000倍 2ℓ/m<sup>2</sup> (前日1回)

農林水産省登録 第23275号